

セブンフーズ(株)

循環型複合経営農業と技能実習生

【経営の概要】

- 所在地 : 熊本県菊池市
従業員 : 正社員61名、パート13名(日本人)、外国人(ベトナム人6人)
経営施設 : 直営農場6
経営規模 : 母豚2000頭、キャベツ20ha

ポイント

☆ 養豚と野菜(キャベツ栽培)の複合経営に外国人材が従事。キャベツ栽培には、養豚から作られる堆肥を使用。

【農業振興】

- ・ 50年前に養豚業、6年ほど前にキャベツ栽培を開始。
- ・ 食品製造業から出される残渣を養豚の飼料として使用する一方、養豚の排泄物から堆肥を作り自社農場でキャベツ栽培に利用している。キャベツは冷凍加工食品メーカーに納品。循環型複合経営を実践している。

【外国人材】

- ・ 日本人の採用が難しいことから人材確保のため外国人材を6年ほど前から採用を開始。
- ・ 養豚では、飼養、管理、洗浄などに従事。野菜では、播種、定植、収穫、栽培管理などに従事。
- ・ 豚コレラ発生国以外の国からの外国人材採用も検討している。
- ・ 採用した技能実習生は、技能実習3号取得した。

【外国人材の生活環境】

- ・ 住居は、会長宅の敷地内に完備。
- ・ 地域のBBQ会や清掃作業(区役)に参加するなど地域との交流にも努力している。
- ・ 日本人社員と休日には旅行に出かけるなど親睦を図っている。



作業風景1



作業風景2

(株)杉養蜂園

養蜂と外国人材

【経営の概要】

- 所在地 : 熊本県熊本市北区
従業員 : 従業員500名、外国人(中国人5人(うち香港から4名))
経営施設 : 国内70店舗、海外7店舗
経営規模 : 蜂数3000群

ポイント

☆ 養蜂の営業業務に語学が堪能な外国人材(在留資格「技・人・国」)を活用

【農業振興】

- ・ 約70年前に創業。国内販売が主力であるが、インバウンドの増加や海外に展開している日本の百貨店の催事などへの出展を経て東南アジアなど海外の蜂蜜需要の好感触を得たことがきっかけで7年ほど前から海外販売を手がけるようになった。香港、台湾、シンガポールに子会社を所有。
- ・ 養蜂の特徴は、機械化が出来ないこと。4月～8月にかけて、熊本、秋田、北海道で国内の採蜜を行うと同時に、ニュージーランドなど養蜂大国でもグローバルな養蜂活動を実施。

【外国人材】

- ・ 海外展開に併せて、5年前から在留資格「留学」で来日していた外国人材を採用。現在、外国人材は、在留資格「技術・人文知識・国際業務」に資格を変更して国内外の営業業務を中心に従事。

【外国人材の生活環境】

- ・ 住居は、賃貸物件を個人で借上げ。
- ・ 日本人社員と同等の待遇を受けている。



業務に従事する職員さん



業務に従事する職員さん

(有)久川養鶏場

養鶏と技能実習生

【経営の概要】

- 所在地 : 熊本県菊池市
従業員 : 職員5名、パート(日本人)2名、外国人(ベトナム人2人)
経営施設 : 鶏舎8棟(7.5ha)
経営規模 : 養鶏13万羽(育成3万羽)

ポイント

- ☆ 養鶏業に外国人材を活用。

【農業振興】

- ・ 60年前に先代が創業。20年前に他事業からUターンした現在の2代目社長が事業継承。熊本県のくまもと農業経営塾1期生。
- ・ 生産した卵は、原卵出荷の後、大手スーパーへ搬入。
- ・ 規模拡大の計画中に熊本地震が発生。養鶏事業の復興を期す。
- ・ 幅広い青年層からの新規就農促進を計画。

【外国人材】

- ・ 日本人に募集をかけても集まらないことから平成29年に外国人材を採用。外国人材には、生活習慣や文化の違いを感じながらも良好な関係を構築。
- ・ 外国人材は集卵や出荷作業に従事。周年作業。

【外国人材の生活環境】

- ・ 敷地内の建物を改造して外国人材用住居を完備。
- ・ 周囲には外国人を雇う企業等があるため、ベトナム人コミュニティが出来ている。



作業風景



経営者の久川氏

有限会社 小田畜産

畜産業と技能実習生

【経営の概要】

- 所在地 : 熊本県山鹿市菊鹿町
従業員 : 社員6人、外国人(ベトナム人4人)
経営施設 : 豚舎(繁殖3棟、肥育14棟)
経営規模 : 養豚数6000頭、母豚数500頭

ポイント

- ☆ 外国人材受入れの組合を設立し、養豚業の人材確保を図ると共に畜舎からの排泄物で循環型システムを構築。

【農業振興】

- ・ 「養豚と土作り」が基本理念。畜舎からの糞尿を尿排水処理施設やコンポスト装置で処理して腐植化をすすめ、培養土や培養液をつくる循環型システムを心がけている。
- ・ 肉の食味があっさりしていることが特徴。有名小売店へ出品。

【外国人材】

- ・ 日本人を採用してもすぐ辞めたり、募集を掛けても集まらないことから、人材確保に危機感を持った現社長が、十数年前に外国人材受入れの為に組合を設立し、採用を開始。
- ・ 現地で業務の概要説明を行う一方、ベトナムの人材斡旋会社からは、当社に対し積極的な人材紹介もある。
- ・ 外国人材が行う作業は、飼養、管理、糞尿処理など。
- ・ 養豚業は、体重100kg～115kg程度の肉豚を移動させるなど力仕事も多いため、外国人材のうち3人は男性。養豚の分娩や豚舎管理などを女性外国人材が行っている。
- ・ 仕事に専念出来る外国人材を雇用する必要性から外国人材は全員20代。

【外国人材の労働待遇】

- ・ 居住環境も整備。
- ・ 雇用している外国人材は、熊本都心部へ出掛けるなどして余暇を過ごしている。



(有)小田畜産の皆様



小田畜産の養豚